

桜看会分科会

看護学科卒業生との交流のため、10月6日に在学生主催の分科会を行いました。コロナ禍でありオンライン開催となりましたが、参加者は卒業生26名、在学生67名、運営スタッフ8名の総計101名と大盛況でした。

分科会では業種、所属ごとにブースを作り、卒業した先輩方から直接、学生生活や就職活動のアドバイスをいただきました。在学生の素朴な質問に対し、先輩方が一つ一つ丁寧に答えてくださいました。質問や話題は、在学生から国試対策、大学時代にやっておけばよかったこと、就活の実態、在学時からできる準備、卒業して一番困ったこと、仕事の現状、教員採用準備等多岐にわたりました。

分科会後のアンケートで、在学生からも卒業生からもオンラインの開催にも関わらず段取りがスムーズでよかったという意見がありました。その他、在校生からは卒業生のお話の後すぐに在校生からの質問をする時間があつたのでその話題について深めた話を聞くことができた(二年生)、様々な職種の卒業生の方のお話を聞くことで色々なパターン(看護師から保健師)を知れて良かった(三年生)という意見や、卒業生からはみんなの顔が画面越しで見られたというのも斬新でいい、ブレイクアウトルームだったため少人数で話しやすかったという意見もあり、在校生・卒業生と共に高い満足度を得られました(図1・図2)。

また、卒業生に向けて現在の県立大学の様子をまとめたスライドショーを作成したことにより、先輩方が在学していた当時とは異なる新たな県立大学の一面を伝えることができました。もっと少人数のグループ分けやチャット機能を使用して、みんなが質問できるようにすれば良いとの意見もあつたため、これを生かして次年度からはグループの参加人数を考慮して行うことができれば、よりよい交流会になると考えます。

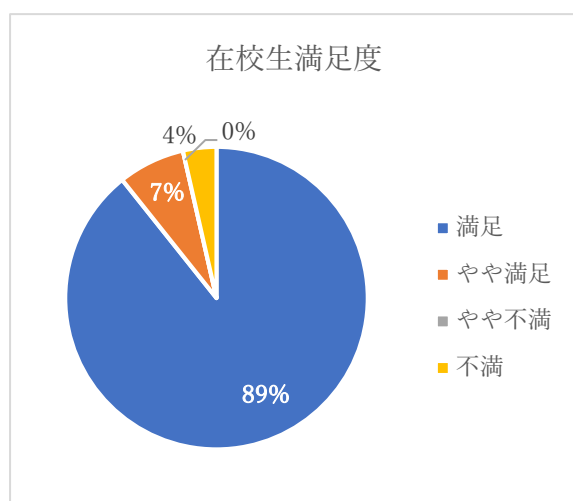


図1 在校生の満足度

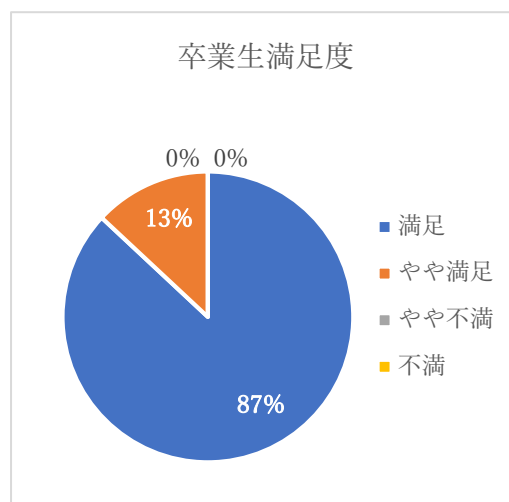


図2 卒業生の満足度

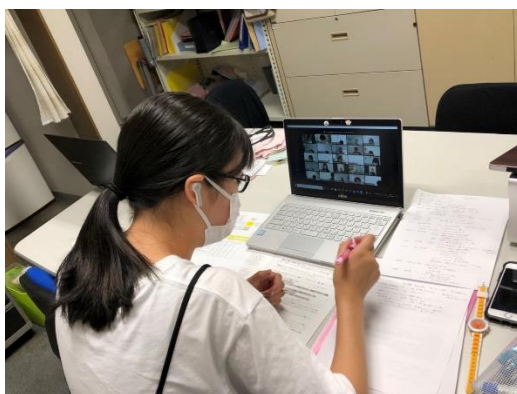
桜看会各分科会の様子

各分科会の様子です。オンラインでの開催となったため、画面をオンにして相手の表情が見えるように話し合っています。今後も桜看会学生委員ではこのような活動を続けていきたいと考えています。ご参加いただいた卒業生の皆さん、在学生の皆さんありがとうございました。

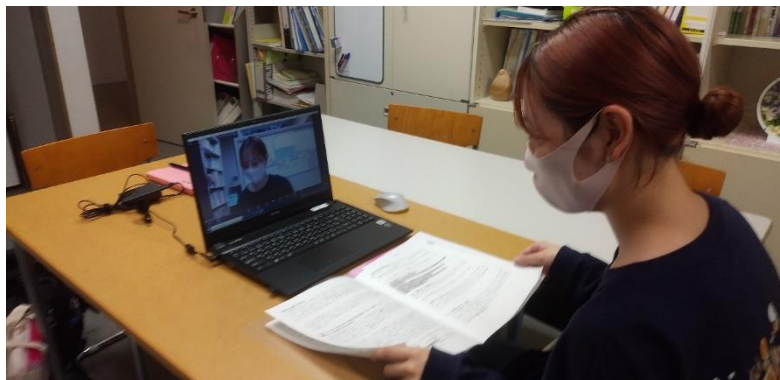
県内看護師分科会のブースの様子



県外看護師分科会のブースの様子



保健師分科会のブースの様子



養護教諭分科会のブースの様子

山口県立高尾高等学校 地域連携 特別公開授業

大まかな勉強の流れ	
3年生後期 (10月くらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が教採の勉強を始め出したことに影響され、勉強を始める ・とりあえず参考書を買う (佐賀県の養護教諭、佐賀県の教職・一般教養)
3年生後期 (11月～春休み前まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩の合格体験談を聞いて、自分の勉強してなさに震える →「勉強しなきゃ」と思いつ、行動は伴わずダラダラ過ごす ・ダラダラしつつも、以下3つのことは行った <ol style="list-style-type: none"> ①佐賀県の過去問をバラバラと流し読みして傾向を掴むこと ②一般教養、教職教養、養教専門科目のそれぞれがどのような分野で構成されているかを把握すること ③佐賀県の教採の試験日程を前年度を参考に把握すること(末年の自分がどのような日程をたどるのかを具体的に把握した)
春休み (2月～5月) 振り返ってみたら、 この期間の勉強が一番大事だったと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・本腰を入れて一次試験の勉強を始める ・平日は朝から友達と学校に来て勉強(家ではやらないので…) ・キャリアサガで出願の際に提出する自己PRの添削を受ける(3回ほど) ・実施要項を取り寄せ、出願する
4年生 (6月～7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習が始まる (実習中は全く勉強しなかった、実習で手一杯だった、土日も勉強しなかった。唯一やったのは車の中で「まとめファイル」をみること) ・一次試験を受ける

助産師分科会のブースの様子

